

にかほ市下水道事業経営戦略（2026（令和8）～2035（令和17）年度版） 概要版

1. 策定主旨

（1）目的

にかほ市下水道事業経営戦略は、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や本市下水道事業が抱える課題や今後の見通しに対応するため、将来にわたって事業の経営基盤を強化し、効率的かつ安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画として策定します。

（2）対象事業

- ・ 公共下水道事業(1 処理区) : 1998（平成 10）年度供用開始（27 年経過）
- ・ 農業集落排水事業(14 処理区) : 1992（平成 4）年度供用開始（33 年経過）
- ・ 小規模集合排水事業(3 処理区) : 1996（平成 8）年度供用開始（29 年経過）

（3）計画期間

2026（令和 8）年度～2035（令和 17）年度の 10 年間

2. にかほ市下水道事業の現状

（1）下水道整備の状況

本市の下水道事業について、2024（令和 6）年度末における整備率は、人口普及率 98.9%、水洗化率 91.7%、下水道整備率 98.9%です。

（2）経営の状況

2024（令和 6）年度決算を基に全国類似団体の平均値と比較し、現在の経営状況を分析しました。分析結果の抜粋を以下に示します。

- ① 経費回収率は、3 事業ともに、健全経営の水準とされる 100%を下回っています。
- ② 汚水処理原価は、3 事業ともに、全国平均より低い値となっています。
- ③ 水洗化率は、3 事業ともに、類似団体より高い値となっています。

（3）2024（令和 6）年度の決算状況

2024（令和 6）年度の収益的収支は黒字となっています。

3. 将来の需要予測

- ・ 行政人口 : 国立社会保障・人口問題研究所における「日本の地域別将来推計人口（令和 5（2023）年推計）」を採用しました。（推計値のない中間年度は直線補完により推計）
- ・ 処理区域内人口 : 2024（令和 6）年度の処理区域内人口比率を行政人口に乗じて推計しました。
- ・ 水洗化人口 : 2024（令和 6）年度の水洗化率を処理区域内人口に乗じて推計しました。
- ・ 有収水量 : 2024（令和 6）年度の水洗化人口 1 人当たり有収水量を水洗化人口に乗じて推計しました。
- ・ 処理水量 : 2024（令和 6）年度の有収率で各年度の有収水量を除して推計しました。
- ・ 使用料収入 : 2024（令和 6）年度の使用料単価を各年度の有収水量に乗じて推計しました。

4. 本市下水道事業の経営理念

本市の下水道事業は、新規整備は概ね終了しており、今後は適切な維持管理及び効率的な事業運営の時代となっていきます。そのため、経営理念としては、以下のとおりです。

- ・ 持続可能な下水道サービスの提供 : 老朽化管に起因する道路陥没を未然に防ぎます
- ・ 効率的な事業運営 : 広域化・共同化施策の推進に取り組みます

5. 今後の投資・財政計画

（1）投資計画

- ① 管路、マンホール・ポンプ施設の改築更新費 : 2026（令和 8）年度から、年間 15,000～25,000 千円計上します。
- ② 中継ポンプ場の更新費 : 2026（令和 8）年度以降、48,000 千円計上します。
- ③ 処理場の更新費 : 2026（令和 8）年度から、年間 35,000～214,000 千円計上します。
- ④ 委託費 : 2026（令和 8）年度から、年間 2,000～17,000 千円計上します。

※管渠を除く改築更新費及び委託費は「R6 年 3 月にかほ市ストックマネジメント計画」より引用。

（2）収支見通し

現行の使用料体系の場合、経費回収率は減少傾向を示し、計画期間の最終年度である 2035（令和 17）年度には 43.0%となる見込みです。使用料改定を検討し、2028（令和 10）年度から使用料改定をした場合、2035（令和 17）年度には、経費回収率は 74.4%となる見込みです（表 1 及び図 1）。

表 1 経費回収率及び一般会計繰入金の推移 (千円)

項目	前期				
	R8	R9	R10	R11	R12
一般会計繰入金（現行）	786,341	780,219	755,188	737,030	727,258
一般会計繰入金（改定）	786,341	780,219	578,206	563,574	557,301
経費回収率（現行）	66.5%	63.3%	60.3%	57.5%	54.8%
経費回収率（改定）	66.5%	63.3%	98.8%	95.3%	91.8%

項目	後期				
	R13	R14	R15	R16	R17
一般会計繰入金（現行）	716,943	716,193	721,282	731,645	736,862
一般会計繰入金（改定）	550,370	553,015	561,397	575,145	583,962
経費回収率（現行）	52.2%	49.8%	47.4%	45.2%	43.0%
経費回収率（改定）	88.4%	85.1%	81.9%	78.1%	74.4%

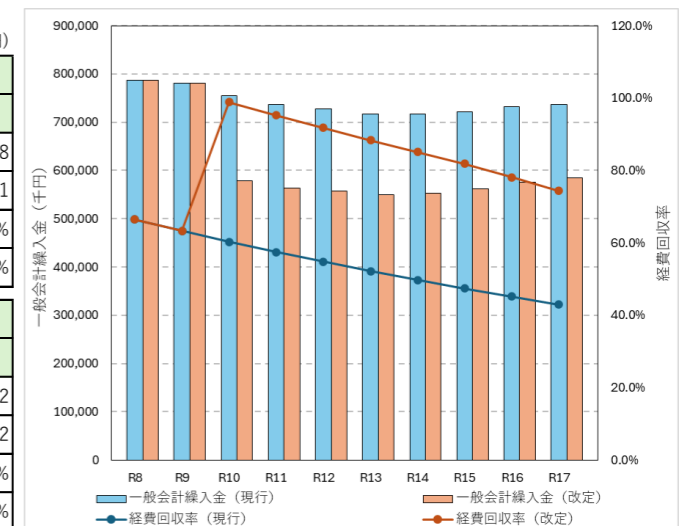


図 1 経費回収率及び一般会計繰入金の推移

6. 経営戦略の事後検証

今後の下水道事業運営は PDCA サイクルの流れに沿って行い、進捗管理は経営指標の推移を毎年度評価することで行います。計画期間の中間年次（令和 12（2031）年度）には、本計画における取組の進捗や社会情勢、財務状況等を踏まえて検証し、中間見直しを実施する予定です。